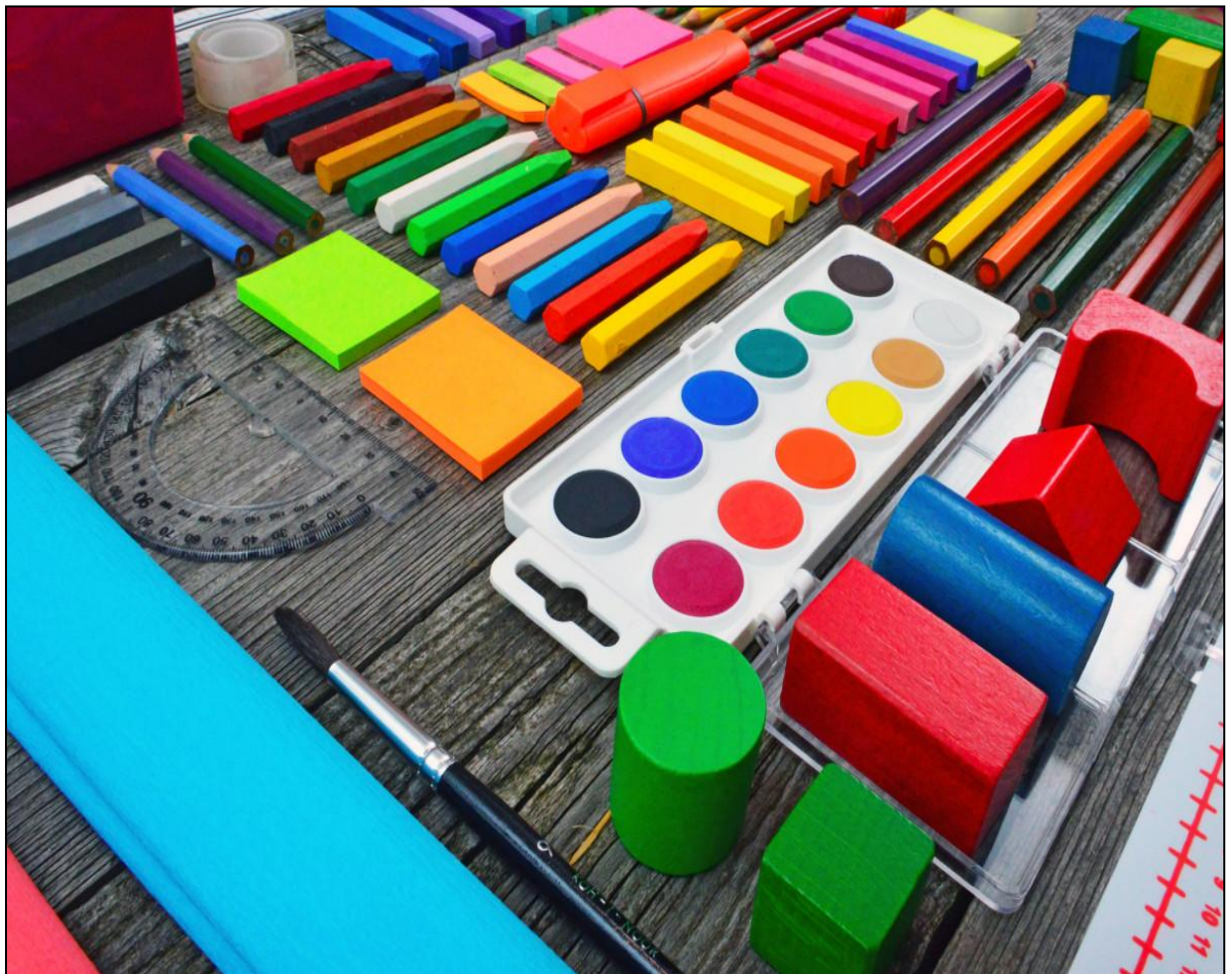


令和6年（2024）度 第47期

富士見市民大学 講座案内



市民による市民のための大学 NPO法人富士見市民大学

〒354-0033 埼玉県富士見市羽沢3丁目23-10 鶴瀬公民館内

<http://www.fujimi-shimindaigaku.org/>



第 4 7 期 市民大学開講式と基調講演のご案内

開 講 式：令和 6 年 6 月 1 日(土) 午後 1 時 0 0 分～1 時 2 0 分
基調講演(公開講演)：令和 6 年 6 月 1 日(土) 午後 1 時 3 0 分～3 時 3 0 分
基調講演のみの参加者は、この時間にお越しください
会 場：鶴瀬コミュニティセンター・ホール（鶴瀬公民館）
定 員：2 5 0 名（申込順）

※富士見市民大学受講生・正会員の方も申し込みが必要です。

参加費：無料

演 題：「平安貴族と宮廷サロンのきらびやかな女性作家たち」

講師：川村 裕子氏（かわむら ゆうこ）

武蔵野大学日本文学研究所客員研究員

1 9 5 6 年東京生まれ、立教大学文学部日本文学科卒業。

立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学、

著書には「蜻蛉日記の表現と和歌」「王朝生活の基礎知識」

「平安女子の楽しい！生活」「平安男子の元気な！生活」

「平安のステキな！女性作家たち」他多数

「蜻蛉日記 I、II」「はじめての王朝文化辞典」（角川ソフィア文庫）監修



先入観で平安貴族は特権に胡坐をかく一握りの階級と考えがちです。

また平安の女性作家として現代に読まれている作品を読むと教養と感性が光る数人の宮仕えの特別待遇の人たちと思ひ込んでしまいます。

しかしながら先生の手書かれたものには平安貴族のつらさと楽しい生活がうかがえる一方、女性たちが生き生きと見えてくるから不思議です。

「源氏物語」の紫式部、「枕草子」の清少納言などいまだに名前も定かでない女性たちの生き方を改めて知りたいと思いませんか。

ジェンダーの視点から見ることも大事ですが今回は、ステキな！女性作家と平安貴族の生活ぶりを探ってみましょう。

申込み/問合せ：令和 6 年 5 月 2 日（木）から申込受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で

平日 9 時～1 7 時にお願ひします

☎049-251-1140 Fax:049-251-1156

目 次

	page
◎第47期・富士見市民大学開講式と基調講演のご案内	1
◎基調講演「平安貴族と宮廷サロンのきらびやかな女性作家たち」	2
◎目 次	3
1. 文学講座	4
2. 国際社会学	5
3. ふじみの歴史	6
4. 行政と市民生活	7
5. 親子で学ぼう「スポーツ障害と予防知識」	8
6. 市民サロン塾	9
◎公開講演会のご案内	10
◎ボランティア・サポーター／理事の募集	14
◎会員（正会員／賛助会員）入会の申込について	15
◎市民大学受講申し込み方法	16



紫式部の生涯と和歌 ―「みやび」と「あわれ」―

『源氏物語』は五十四帖から成り、七九五首の和歌を収める。紫式部はその作者である。本講座では『紫式部日記』や彼女の自撰歌集をテキストに、彼女が生きた社会について学ぶ。また、独特の発達をとげた文語や、文章作法に深入りすることなく、和歌文学の初歩的な手引きめざす。その結果として藤原氏一族の栄華や平安時代の文学へのいざないになるよう心掛ける。（講師記）

講 師：東洋大学名誉教授 博士（文学）

谷 地 快 一（たにちよしかず）氏

プロフィール：1948年北海道生まれ。東洋大学名誉教授。

俳号海紅。俳人協会会員、日本エッセイスト・クラブ会員。

著書に『与謝蕪村の俳景一太祇を軸として』（新典社）、共編著に『芭蕉・蕪村発句総索引』（角川書店）、江戸人物読本『与謝蕪村』（ぺりかん社）、『俳句教養講座』全3巻（角

川学芸出版）など。芭蕉会議〈<http://www.basho.jp>〉を主宰し、句集に『九十九句』。



教 室：みずほ台コミュニティセンター（集会室）

日 程：9月1日～9月29日までの毎日曜日（5回）

	日 時	学習項目	学習内容
第一講	9月1日（日） 午前10時～12時	紫式部の時代	平安時代の文学（中古文学）を段階的に四つに分けて解説し、紫式部の史的位置を定めます。
第二講	9月8日（日） 午前10時～12時	紫式部の生涯	紫式部の家系や履歴を紹介して、その才能のみなもとや評価の高い著作について解説します。
第三講	9月15日（日） 午前10時～12時	紫式部と日記	日記が文学となる歴史と『紫式部日記』の公的側面と私的側面について解説します。
第四講	9月22日（日） 午前10時～12時	紫式部の宮仕え	中宮彰子に仕えた暮らしにかいま見える本心を紹介し『源氏物語』の執筆動機に言及します。
第五講	9月29日（日） 午前10時～12時	紫式部の人物評	同じ女房として同時代を生きた和泉式部・赤染衛門・清少納言らへの人物批評を紹介します。

ウクライナとガザ＝2つの戦争から考える世界の行方

「ロシアのウクライナ侵攻が始まって2年が経過し、昨年10月には武装組織ハマスによる奇襲攻撃を機にイスラエルがガザ地区を総攻撃、すでに3万を超す住民が犠牲になり飢餓も深刻化しています。国連による働きかけも機能せず、戦争は拡大の気配を孕んで続いています。そもそもどうしてこのような戦争がはじまり、どうしたらこの泥沼状態を終わらせられるのか、道筋がまったく見えていません。今、核兵器もある世界なのに、戦争の火種はあちらこちらに広がっているようです。かつて第2次世界大戦後多くの犠牲者と惨禍の上に、平和への合意がなされたはずでした。ところがグローバリゼーションの進展とともに、新たな揺り戻しが世界を覆いつくそうとしています。「世界の平和・民主主義」、各国の在り様の変化がどうなっていくのか。私たちはどこへ向かうのか、過去に学び、戦争、現在のこの危機に対してどう世界の人たちと共生していくのか課題をみていきましょう。



講師：西谷 修氏 文明史家・東京外語大学名誉教授

現代フランス思想の研究をベースに戦争や死、宗教や哲学についての著書多数。
近著に「私たちはどんな世界を生きているか」（講談社現代新書）。

会場：鶴瀬公民館 第3集会室

日時・会場		テーマ
1	6月15日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	現在のグローバル社会はどうつくられたのか
2	6月22日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	ウクライナ、パレスチナの危機の由来と現在
3	6月29日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	日本の選択「脱亜入欧」と直面する課題
4	7月13日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	人類に新しい「未来」はあるのか

人生100年時代 超高齢社会を迎えて

～高齢者が老後を安心して生活を送るために～

富士見市の公共施設再編計画と民間介護・医療事業の現状

私たちの居場所とは？

誰に相談したらいいの？・・・繰り返される自然災害の他、感染症の猛威、際限のない物価高などの社会環境の悪化、加齢からくる体力の低下、予期せぬ疾病発症など、私たち高齢者はこれからも安心して生活を送るために、市行政の政策のどんなところに傾注すればよいのか、また、民間事業者による介護医療（在宅医療）の現状を知る上で、今回、市民学コースとして学習の場を下記に用意しましたので、これらに参加することでこれからの市民生活の一助にして頂ければ幸いです。

回	日時・会場	内 容	講 師
1	9月28日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館 第3集会室	富士見市の令和6年度街づくり 令和6年度市政の重点施策と高齢者への介護予防と介護医療政策の基本理念と方針	政策企画課
2	10月5日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館 第3集会室	富士見市の公共施設のマネジメント 将来公共施設が迎える課題や市の取り組み状況について	公共施設マネジメント課 本田友孝氏
3	10月12日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館 第3集会室	富士見市介護予防・日常生活支援総合事業 介護予防の総合事業って何？	高齢者福祉課
4	10月26日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館 第3集会室	初めての介護施設・老後施設さがし 「老後は介護施設で安心して暮らしたい」 介護施設や老後施設の種類、月額料金、入所要件、その他サービスの解説	高齢者あんしん相談センター ふじみ苑
5	11月2日（土） 13：30～15：30 鶴瀬公民館 鶴瀬コミュニティセンター ホール	第3の医療 在宅医療・訪問診療の実態を探る 超高齢化社会の突入に答える問題解決の切り札。日本の医療でさらなる重要性を増す「訪問診療」	日鼻医院 日鼻靖院長

注）第5回講座は公開講座として 13：30～15：30まで開催

‘古入間湾と奥東京湾’

‘湾岸エリア’の四大貝塚を深掘りする

海なし県の埼玉県にも縄文時代には海がありました。いわゆる「縄文海進」です。およそ 6,000 年まえのピーク時は、まだ谷だった関東平野の低地に海水が入り込み、「奥東京湾岸」と「古入間湾」とが形成され、「湾岸エリア」には多くのムラが生まれました。今日、200余の貝塚が残されており、なかでも代表的な4つの貝塚が「国の史跡に指定」されています。

今回の講座は、その4つを管理する自治体の担当者をお招きし、その最新情報を、講義していただきます。

回	日時・教室	テーマ	概要	講師
1	11月9日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館	関東地方の貝塚の分布と遺跡の特徴		樋泉岳二氏 早稲田大学
2	11月16日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館	神明貝塚 （春日部市） 縄文後期	集落存続期間が約300年間に限られ、この時期の集落の形態・変遷が端的にわかる。	森山高氏 春日部市 教育委員会
3	11月23日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館	真福寺貝塚 （さいたま市） 縄文後期 ～晩期	住居跡、貝塚、窪地、盛土、低地がセットの集落。重要文化財のみみずく土偶が出土。	吉岡卓真氏 さいたま市 教育委員会
4	11月30日（土） 10：00～12：00 鶴瀬公民館	黒浜貝塚 （蓮田市） 縄文前期	黒浜式土器の標識遺跡。貝塚を伴う集落と斜面林、湧き水、小川と縄文時代を彷彿させる自然環境が残る。	小林美穂氏 蓮田市 教育委員会
5	12月8日（日） 10：00～12：00 鶴瀬公民館	水子貝塚 （富士見市） 縄文前期	前期の貝塚としては最大規模。直径160mの環状に分布する小貝塚から集落の規模・形態が推察できる。	早坂廣人氏 富士見市 教育委員会

公開講座

親子で学ぼう「スポーツ障害と予防知識」

スポーツドクターの「ケガ予防とケガのない体づくりへのアドバイス」

中体連（日本中学校体育連盟）2023 年の集計によると、中学生の部活動への参加率は、「文化部」の 28.6%に対して運動部は 64.6%と圧倒的に運動部志向です。

男子生徒に人気なのは、①ソフトテニス ②バスケットボール ③サッカー ④卓球
⑤陸上競技の順のようです。

女子は、①ソフトテニス ②バレーボール ③バスケットボール ④卓球 ⑤陸上競技です。

生徒はそれぞれの分野で、大谷翔平や、河村勇輝や、三苫薫や久保建英といった、トップ選手をめざして頑張っています。それだけに、「スポーツ障害と予防」は、本人・保護者は、もちろん、指導者・監督・コーチにおいても不可欠の知識といえるでしょう。

講 師：山口智広（やまぐちともひろ）氏

ふじみ野内科整形外科内科骨粗鬆症スポーツクリニック 院長

会 場：鶴瀬公民館 第3集会室

日 時：未定

（選挙予定のため未定。決定次第、チラシ・ポスター掲示等でお知らせします）

内 容：①まず体験から一私も、中学・高校を通して Gymnast（体操選手）でした。

②よく起こるケガ（スポーツ障害）の事例（野球・サッカー・陸上・体操など）

③生徒の体調不良・ケガに接したとき、みなさんは（指導者／監督／コーチ／保護者）どう対応しますか？

④ケガの予防対策（本人／指導者／監督／コーチ／保護者）

⑤ケガをしないからだを作る（監督の指導、保護者の協力、そして、なによりも本人の努力）



学びのネットワーク 市民サロン塾

各回募集定員：30 人

市民講師によるサロン塾

「市民人材バンク推進員の会」と市民大学との共同企画

市民人材バンクの登録者を中心に、市民を講師に迎えた「市民による市民のための講座」です。

8 講座から希望する講座を選んで受講できます。

定評のある講師陣とサロン塾初登場の講師による楽しみと新たな知識が得られる内容です。



会場は鶴瀬公民館第3集会室、いきいき活動室になります。

回	日時・会場	テーマ	概要	講師
1	8月24日(土) 10:00~12:00 第3集会室	茶の湯歳時記 正式な茶の湯 のおもてなし	正式な茶の湯のおもてなし、 9月の茶事について	市民大学理事 出井 あや子氏
2	9月30日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	大人のための 絵本の話	聞いて楽しい、奥深さを 感じてみよう	絵本専門士 雪竹 ますみ氏
3	10月7日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	お薬の話	高齢になると服薬の数が増 えるばかり、不安が募りま す、どうしたらいい？	人材バンク登録者 薬剤師 山田 祥三氏
4	10月28日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	講話と写経	毎回、講話を楽しみにしてい る方も、写経のひとは何物 にも代えがたいのでは：注1	来迎寺住職 横山 亮英氏
5	11月4日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	懐かしの 昭和歌謡	青春時代に聴いた、歌ったメ ロディーを講師とともに歌 おう	人材バンク登録者 波之上楽団
6	11月11日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	初心者向け ヨガで解そう 心と身体	ヨガが初めて、高齢者でも大 丈夫、生き生きとリフレッシュ しよう：注2	人材バンク登録者 豊永 めぐみ氏
7	11月25日(月) 13:30~15:30 いきいき活動室	鶴瀬公民館周 辺を探索しよ う	毎年恒例で、鶴瀬公民館周辺 の史跡や地形を巡って発見 がある散歩です	人材バンク登録者 富士市資料館友の 会ふるさと探訪会
8	1月18日(土) 10:00~12:00 第3集会室	茶の湯歳時記	正式な茶の湯のおもてなし、 2月の茶事について	市民大学理事 出井 あや子氏

注1：筆ペンの用意をしてください。

注2：椅子に座ってのヨガで、スポーツタオルをお持ちください。



公開講演会のご案内



公開講演会

気象予報士から学ぶ異常気象、地球環境の未来

昨夏の高温、熱中症、集中豪雨、土砂崩れによる災害に、危機感を覚えました。さらに地球は人間の経済活動によって脅かされ絶滅期を迎えるのではないかと。

コロナウイルスのまん延も開発によって引き起こされたと憶測をされています。今後も未知のウイルスが開発のために人が入り込むことで出現するかも。

講師の気象予報士の千種ゆり子氏は、富士見市のPR大使として活躍中です。

また、氏は市内で成長されて地域の自然、生態系、環境問題にも精通されています。現在も大学院でさらに専門的に探究を深めています。

喫緊の課題である異常気象、地球環境の行方を、分り易く語っていただけますので、今こそしっかりと考えてみませんか。

日 時 2024年9月14日（土）
13:30～15:00

講 師 千種ゆり子氏（ちくさゆりこ）
気象予報士、防災士

演 題 気象予報士から学ぶ異常気象、
地球環境の未来

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
参加費 無料
定 員 250名（申し込み順）



《 講 師プロフィール 》

富士見市出身。一橋大学法学部卒業

2013年度に気象予報士資格を取得

2014年度からNHK青森放送局でお天気キャスターとして出演

2016年4月、テレビ朝日でニュース原稿作成等のデスク業務を務める

同年5月1日、富士見市PR大使に就任。

2017年1月7日、テレビ朝日『スーパーJチャンネル』（土曜版）に出演開始

2021年10月、TBS『THE TIME,』にお天気キャスターとして出演開始。

申し込み：2024年8月14日（水）受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で

＊平日の9時～17時をお願いします。

電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156



公開講演会のご案内



行政と市民生活講座 公開講演会

第三の医療 在宅医療体制の実態」

◆一般診療時間外に発熱したり

介護が必要となったらどうしたらいいの？

◆～自分らしい生活の中で治療を受けたいのだけど～

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は5類感染症として分類され、今までの様な限られた国の感染症関連機関や民間指定医療機関による特別な対応ではなくなったことは周知のことです。

そこで、5類感染症対応とコロナ禍にあった「新型インフルエンザ感染症」の医療体制と何が違うのか、また、介護医療の現場診療にあたっている専門医を公開講演会に招いて分かりやすく解説してもらう機会を以下に用意しました。果たして感染が疑わしいと思われる症状の場合や介護医療が必要となった場合など、私の居場所は見つかるのでしょうか？

日 時 2024年11月2日（土）

13:30～15:00

講 師 日鼻 靖氏（くさはなやすし） 日鼻医院院長

演 題 第三の医療 『在宅医療体制の実態』

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール

参加費 無料

定 員 250名（申し込み順）

《 講 師プロフィール 》

1983年 昭和大学医学部卒業

同年 昭和大学藤が丘病院内科研修医

1985年 昭和大学藤が丘病院循環器内科勤務

1994年 日鼻医院副院長

その後 国立大学病院に2年勤務

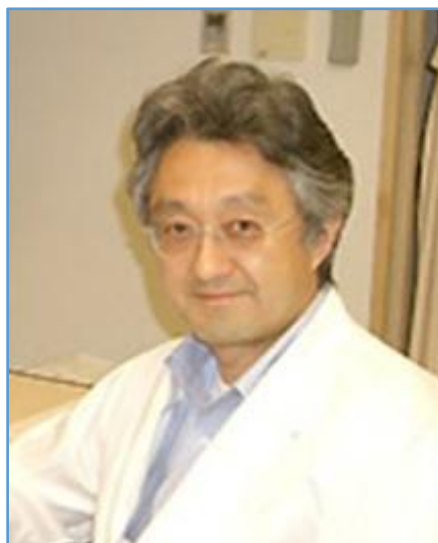
2000年 日鼻医院院長へ

申し込み：2024年10月1日（火）受付開始

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話で

*平日の9時～17時をお願いします。

電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156





公開講演会のご案内



：帯の38%で

人権講座 公開講演会

いずれはみんな、おひとりさま

す。非婚、離婚、死別者が増え、結婚してもしなくても最後はひとり。ですが、独居と孤立は違います。在宅ひとり死と孤独死も違います。自分らしく生きて死ぬ…そのためには何が必要でしょうか。一緒に考えたいと思います。

日 時 2024 年 12 月 7 日 (土)
13:30～15:00

講 師 上野 千鶴子 (うへの ちづこ)
社会学者・東京大学名誉教授

長

演 題 いずれはみんな、おひとりさま
会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
参加費 無料
定 員 250 名 (申し込み順)



講師プロフィール

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長
上野千鶴子基金代表理事。

1948 年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。

平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993 年東京大学文学部助教授、1995 年同人文社会系研究科教授。2012 年立命館大学特別招聘教授。元学術会議会員。専門は女性学・ジェンダー研究。

著書：『当事者主権』(中西正司と共著、岩波新書)、

『ケアの社会学』(太田出版)『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』(法研)、『おひとりさまの最期』(朝日新聞出版)、『女の子はどう生きるか、教えて！上野先生』(岩波ジュニア新書)『在宅ひとり死のススメ』(文春新書)『フェミニズムがひらいた道』(NHK出版)『おひとりさまの逆襲』(小島美里と共著、ビジネス社)『史上最悪の介護保険改定?!』(樋口恵子と共編著、岩波ブックレット)『上野千鶴子がつもって文学を社会学する』(朝日新聞出版)等がある。

最新刊は『最期はひとり』(樋口恵子との共著・マガジンハウス)『「おひとりさまの老後」が危ない!』(高口光子との共著・集英社新書)『こんな世の中に誰がした』(光文社)がある

申込み： 令和 6 年 1 1 月 5 日 (火) から受付開始 事務局 (鶴瀬公民館内)

電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156



公開講演会のご案内



社会保障学 公開講演会

社会保障の理念と現状、介護保険法の改正について

『地域共生社会と人権としての社会保障のゆく』

来る2035年には85歳以上の高齢者が1,000万人を超えると予測されています。政府は介護・医療制度のさらなる改革とともに、住民相互の支え合いを基本とした地域共生社会づくりを進めています。人口減少社会のもとで、人権としての社会保障を発展させるために考えなくてはならないこと、取り組むべきことについて、ともに考える機会になればと願っております。

日 時 2025年2月8日（土）
13:30～15:30

講 師 濱畑 芳和（はまばた よしかず）
立正大学社会福祉学部教授

演 題 『地域共生社会と
人権としての社会保障のゆくえ』

会 場 鶴瀬コミュニティセンターホール
参加費 無料
定 員 250名（申し込み順）



プロフィール

- ・龍谷大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学
（修士（法学））社会保障法学を専攻
- ・立正大学副学長・社会福祉学部教授
NPO法人秋桜舎理事

著書：基礎から考える社会保障（共著、自治体研究社、2023年）

- ・雇用・生活の劣化と労働法・社会保障法
- ・コロナ禍を生き方・働き方の転機に（共著、日本評論社、2021年）など

申込み 令和7年1月6日（月）から受付開始 事務局（鶴瀬公民館内）
電話 049-251-1140 FAX 049-251-1156

